

★その1 北海道の新聞について

I 新聞の種類・形態

1 新聞の種類

全国紙 全国に向けた新聞 例) 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞
※ 北海道支社作製の地域面

地方紙 各都道府県内や特定の地域で発行されている新聞

<ブロック紙> 北海道新聞

<地域紙> 釧路新聞、十勝毎日新聞、苫小牧民報、室蘭民報など

<ローカル紙> 岩見沢新聞、函館新聞、根室新聞など

※ その他、記事の内容(経済紙、業界紙、スポーツ紙など)、発行の形態(日刊、週刊など)などで分類される。

2 新聞の形態

原紙

一般的な新聞

マイクロフィルム

紙文書等の情報を縮小撮影したフィルム。小さな面積に多くの情報を記録することができ、長期保存に適している。読み取りには、専用の機械を使用。

<幅 35mm> 長さ 30.5m 約700~800コマを記録することが可能

<幅 16mm> 長さ 30.5m 約1,200コマを記録することが可能

縮刷版

新聞社が1カ月ごとに原紙を縮小しまとめたもの。巻頭に索引が付いている。ただし、本社最終刷版なので地域面はない。

※ その他、CD-ROM、Web など

II 北海道の新聞の歴史

1 北海道の新聞草創期

注：■印は、当館に1部でも所蔵しているタイトル

- 「**函館新聞**」(函館) 明治11(1878)年1月7日創刊
北海道で発行された最初の民間新聞。月6→日刊へ。タブロイド判4p。一部1銭2厘。
開拓使録事、社会記事、投書欄、物価欄、広告欄など。

 - 「**札幌新聞**」(札幌) 明治13年6月16日
冊子型。週刊。1年で廃刊。開拓使録事、雑報、小樽相場など。

 - 「**北海新聞**」(札幌) 明治20年1月20日創刊
週刊→週2回。タブロイド判4p。一部1銭2厘。北海道庁の買上げにより経営安定。
↓
 - 「**北海道毎日新聞**」(札幌) 「北海新聞」の改題紙、明治20年10月創刊
2番目の日刊紙。阿部宇之八(新聞人や道内地方紙の育成に努めた北海道新聞界の功労者)発行。ニュース報道だけでなく社会教育、農業指導に力を注ぐ(教育週報、農事週報などの付録発行)。道庁の失政も批判。
- ※ 古くから開発が進んでいた函館から、道政の中心である札幌へ。その後、小樽・釧路・室蘭の各開港場から、旭川・帯広・北見へと広がっていく。

2 道内の主な新聞(昭和20年以前)

<札幌>

- 「**北門新報**」(明治24年4月) 中江兆民主筆。「北海道毎日新聞」に対抗。
- 「**北海時事**」(明治31年11月) 立憲政友会系の北海道初の政党機関紙。



- ※ その他、■「**北鳴新報**」(明治34年6月：野口雨情)
■「**北門新報**」(明治36年6月：石川啄木) など

<函館>

- 「函館毎日新聞」(明治31年5月、「函館新聞」の改題)
度重なる大火や経営陣の交替などで昭和12年9月廃刊。

- 「函館日日新聞」(大正7年4月)
 - 「函館新聞」(明治45年6月)
 - 「函館タイムス」(昭和12年9月)
- 「新函館」(昭和16年12月)

<小樽>

- 「小樽新聞」(明治27年12月)

※ 「北海道タイムス」「小樽新聞」「函館毎日新聞」は、北海道の三大紙と言われ、部数を競い合ったが、「函館毎日新聞」は大正末期に脱落。残る二紙がはげしく対抗した。しかし、昭和17年の新聞統合により、道内の主要新聞は廃刊・統合され、「北海道新聞」(昭和17年11月1日創刊)一紙となった。

<樺太>

- 「樺太新報」(明治39年8月)
→ 明治44年、■「樺太日日新聞」(明治41年8月)に合併
- 「恵須取毎日新聞」(昭和3年11月) → 「樺太毎日新聞」(昭和4年7月)に改題

- 「樺太日日新聞」
 - 「樺太旭新聞」(大正15年)
 - 「樺太時事新聞」(大正5年9月)
 - 「樺太毎日新聞」
- 「樺太新聞」(昭和17年2月)

3 道内の主な新聞(戦後)

終戦直後は、言論統制が解かれ様々な新聞が発行された → プランゲ文庫

- 「北海道新聞」(昭和17年11月1日～)
- 「北海道タイムス」(昭和24年10月～平成10年9月廃刊)
→ ■「フロンティアタイムス」(平成11年6月) → ■「札幌タイムス」(平成13年2月)
- 「十勝毎日新聞」(昭和21年1月再刊～)
- 「苫小牧民報」(昭和25年1月～)
- 「室蘭民報」(昭和20年12月～) ※ 道内戦後初の地方紙

Ⅲ 新聞を使える資料に！

1 資料としての重要性

- ・ 公的な記録が残っていない → 市史、町史作成の参考に使用
- ・ 政府の公式な官報的役割
- ・ 広告、社会面など当時の風俗を知ることができる
- ・ 古書店などの流通ルートで購入できない

2 切り抜きも立派な資料

- ・ 新聞原紙がなく、切り抜きが唯一の資料に
- ・ チリも積もれば・・・ → スクラップ・ブックが歴史を語る
- ・ 製本すれば単行本に
- ・ 「新聞に見る～」 → 新聞を利用すれば、重要な郷土資料

Ⅳ 新聞を調べるツール

1 北海道で発行された新聞について

「雑誌新聞総かたろぐ」（メディアリサーチセンター発行）

国内で発行される定期刊行物（雑誌・新聞・機関誌・年鑑など）の内容・特色を調査収録した年鑑。創刊は昭和 54 年。発行部数や改題情報なども掲載。

「北海道・樺太の新聞雑誌」（功刀真一／著、北海道新聞社発行、1985 年刊行）

「新聞にみる北海道の明治・大正」（佐藤忠雄／著、北海道新聞社発行、1980 年刊行）

北海道の新聞の歴史を知る上での基本的な資料。巻末に新聞年表がある。

北海道立図書館情報検索リンク集Do-Links

(<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>)

本・雑誌などの資料を探すサイト > 新聞 > 北海道の新聞社

※ その他、各新聞社の社史など

2 新聞の所蔵について

[全国新聞総合目録データベース](http://sinbun.ndl.go.jp/) (<http://sinbun.ndl.go.jp/>)

国立国会図書館及び全国約 1,300 機関の新聞の所蔵が検索できる。

[北海道雑誌新聞総合目録](http://www.library.pref.hokkaido.jp/contents/hk-tosho/hyoshi/hyoshi.htm)

(<http://www.library.pref.hokkaido.jp/contents/hk-tosho/hyoshi/hyoshi.htm>)

道内 98 市町村立図書館が購入している雑誌・新聞を収録。

[北海道立図書館情報検索リンク集 Do-Links](#) > [新聞](#)

[北海道立図書館所蔵新聞目録 2002 年 12 月 31 日現在](#)

平成 14 年 12 月 31 日現在の当館所蔵（北方資料室所蔵を除く）の新聞を収録。図書に収録された新聞も含む。

[北海道立図書館情報検索リンク集 Do-Links](#) > [新聞](#)

[北海道地方新聞所在目録 改訂版 平成 19 年 3 月現在](#)

平成 19 年 3 月現在の当館、道内市町村立図書館、道内新聞社、道内外の関係機関が永年保存している北海道の地方新聞を収録。

[北海道立図書館情報検索リンク集 Do-Links](#) > [新聞](#) > [北海道の新聞社](#)

[プランゲ文庫新聞目録 北海道関係分 \(北の資料 No. 116\)](#)

プランゲ文庫新聞コレクションのうち、当館所蔵の北海道関係分の 1,079 タイトル。内容は①基本表題のアルファベット順目次、②本編③出版地域別索引で構成。

[北海道立図書館ホームページ](#) > [刊行物](#) > [北の資料](#)

3 新聞の記事について

「北海道新聞 縮刷版」昭和 42 年 4 月～

札幌本社発行の朝・夕刊最終刷版、1 カ月分収録。分野別記事索引がある。

「十勝毎日新聞 縮刷版」昭和 57 年 1 月～平成 17 年 3 月

1 カ月分収録。分野別記事索引がある。

「十勝毎日新聞 CD-ROM 版」平成 17 年 4 月～

1 カ月分収録。全文検索が可能。

※「美幌新聞」平成 3 年～平成 9 年。1 年分収録。

「日刊留萌新聞」昭和 59 年 1 月～。1 カ月分収録。

「北海道E L新聞記事情報リスト」

(エレクトロニック・ライブラリー／編・発行、2007年刊行)

年刊。全国紙、ブロック紙、地方紙、専門紙、スポーツ紙など国内発行の数十紙から、北海道に関する記事を抽出して収録。北海道以外の新聞に所収の記事も含め、年月日順・分野別に一覧できる。1988年版から出版されている(当館は1998年版以降所蔵)。

「北海道内発行新聞文芸関係記事年表稿 明治篇」

「北海道内発行新聞文芸関係記事年表稿 大正篇」

(日本近代文学館北海道支部／編・発行、1964年刊行)

日経テレコン 21

日本経済新聞社が提供しているサービスで、当日から過去を含めて新聞各紙の記事情報を検索することができる(有料)。

北海道新聞	全道版は昭和63年7月～、地方版は平成5年9月～
朝日新聞	北海道版は平成3年1月～
毎日新聞	北海道版は平成6年12月～
読売新聞	北海道版は昭和62年7月～

占領期新聞・雑誌情報データベース (<http://prangedb.kicx.jp/login>)

プランゲ文庫コレクションの全雑誌、全号の表紙・目次等から著者名、記事・論文タイトル名、本文小見出し、発行所(出版者)、発行年月日、発行地などの情報をパソコンに入力したデータベース。北海道発行の新聞については、記事未入力。会員登録が必要。

戦前期経済新聞記事文庫 (http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/index_main.html)

神戸大学経済経営研究所によって作成された明治末から昭和45年までの商業経済を中心とした新聞切抜資料のデータベース。「北海タイムス」「樺太日日新聞」を収録。

47NEWS (全国新聞ネット) (<http://www.47news.jp/>)

47都道府県52新聞社のニュースと共同通信ニュースを束ねた総合サイト。北海道からは、北海道新聞と室蘭民報が参加している。この2紙は10日前までの記事なら検索が可能。

※ 各新聞社のホームページで、記事のダイジェストが検索できるものもある

- ・ 釧路新聞 (<http://www.news-kushiro.jp/index.php>) 過去3年分
- ・ 苫小牧民報 (<http://www.tomamin.co.jp/>) 平成8年～
- ・ 十勝毎日新聞 (<http://www.tokachi.co.jp/>) 平成8年～
- ・ 函館新聞 (<http://www.hakodateshinbun.co.jp/>) 平成15年～
- ・ 室蘭民報 (<http://www.muromin.mnw.jp/>) 平成11年～
- ・ 北海道建設新聞 (<http://e-kensin.net/>) 過去2年分
- ・ 北海道住宅新聞 (<http://www.iesu.co.jp/index2.htm>) 平成13年～
- ・ 北海道通信 日刊建設版・教育版 (<http://www.dotsu.co.jp/frmTop.aspx>)
平成13年～

北海道立図書館情報検索リンク集 Do-Links > 新聞 > 北海道の新聞社

★ その2 プランゲ文庫の紹介

1 占領下の言論統制（新聞略年譜）

昭和19.	12.	31	民間検閲局（CCD）編成決定
昭和20.	4.	20	「日本における民間検閲基本計画」承認
	8.	14	ポツダム宣言受諾
	8.	15	日本無条件降伏・玉音放送
	8.	30	マッカーサー厚木に降りたつ（9.08：米軍、東京進駐）
	9.	01	民間検閲局（CCD）活動開始
	9.	10	新聞・ラジオ検閲開始
	9.	12	日本報道機関取り締まりに対する第1回指令（※新聞コード原型）
	9.	21	「日本新聞紙法」（新聞コード）指令（※10ヶ条）
	10.	05	大新聞16社 通信社3社の新聞の事前検閲開始
昭和23.	7.	15	新聞の事前検閲廃止、事後検閲となる
昭和24.	10.	24	新聞の事後検閲廃止、言論検閲終了〔※約4年間〕
昭和27.	4.	28	サンフランシスコ講和条約〔※マッカーサー来日から、6年8ヶ月〕

■占領軍GHQの日本統治は、日本政府を通じての間接統治。メディア検閲は直接実施した直接統治だった。CCDには1000人超の隊員、配下の日本人スタッフ5000人超。

2 新聞の検閲方法（事前検閲の場合）

新聞社は、発行前のゲラ刷り2部提出→CCDは、受け取って問題ありそうな記事は英訳して報告→最終決定されたら、2部共に指示事項〔削除、差し止め、保留、発行禁止〕が記入→1部は印刷されたものと照合のためCCDに（※後年、プランゲ文庫となる）、1部は新聞社に返却。

■検閲には ①事前検閲紙 ②事後検閲紙 があつた。途中から①になったり②になった場合あり

■事故ゲラ 5～10%（※「読売新聞」の例）

3 どんなことが検閲対象だったか

占領軍批判、検閲への言及、ソ・英・朝鮮人・中国批判、戦争宣伝の擁護、軍国主義、封建思想賛美、飢餓の誇張、真実でない、時期早尚な情報の公表・・・

■この時期の出版物の特徴：新生日本、日本再建、民主日本・・・ 記事全体が明るい

4 北海道の新聞

昭和20. 11（推定）から事後検閲⇒「北海道新聞」：昭和21. 7. 15から事前検閲（※労働争議昭和21. 12. 21解決） // 「新北海」：昭和21. 8. 1創刊時、「北海タイムス」：昭和21. 9. 31創刊時から事前検閲 // 「北海道新聞」：昭和23. 7. 15、「新北海」「北海タイムス」：昭和23. 7. 17事後検閲となる

5 マイクロフィルム版「プランゲ文庫 新聞」のタイトル数

フルセット（全国）：18,047（※東京3,864 大阪：1,768 ※全国3番目）

うち、北海道1,078（※一般紙238、その他840）

<参考資料>『プランゲ文庫新聞コレクションパンフレット』（文生書院）、『特別展メリーランド大学所蔵プランゲ文庫展パンフレット』（立命館大学国際平和ミュージアム）、『占領下の児童書検閲資料編』（谷暎子／著 新読書社）、『メリーランド大学所蔵プランゲ文庫展記念図録』（ニチマイ）、『占領期北海道刊行の出版物と占領軍による検閲』（出村文理／著 「北の文庫」35号所載）、『マッカーサーの新聞検閲』（高桑幸吉／著 読売新聞社）ほか

★その3 調べ方の実際 —平成18年度以降の事例から—

	質 問 ・ 回 答
1	<p>『函館新聞』明治15年10月の764号、765号は、函館図書館では欠号だが、道立図書館にはあるか マイクロフィルム版で確認 → 欠号 全国新聞総合目録データベース → 『函館新聞』の所蔵機関一覧により、国立国会図書館には、 宮内庁所蔵の新聞からマイクロ化した、当館とは違うマイクロフィルムで所蔵 していると判明。該当年月も、特に欠号表示なし。国会図書館を紹介。コピーサ ービスもあり。</p>
2	<p>明治38年の樺太移住者の渡航届簿・乗船名簿のようなものはあるか 樺太史、樺太移住関係、日本郵船関係蔵書、『殖民公報』… 判明せず 当時の新聞（タイムス、函館、小樽、釧路）を調査 『北海タイムス』 8月15, 16, 17, 22日にあり（人名の記述はなし） 『函館新聞』8月12, 18, 20, 21, 23, 27日にあり 『小樽新聞』8月15, 16, 18, 21, 22, 23, 25, 28日にあり</p> <p>第1回航海の乗客は50名。内小樽から乗船した32名の名前は18日の小樽新聞にあり。 第2回航海の乗客中、1等・2等の乗客20名は25日の小樽新聞と27日の函館新聞、20日 と23日の函館新聞には函館区在住者で樺太行きのため樺太営業及身元証明願等を提出し道庁 に進達された人名あり</p> <p>すべての人名が判明しなかったため、全国樺太連盟北海道支部連合会ほか関連機関を紹介</p>
3	<p>明治43, 44年頃の倶知安で発行され、読まれていた新聞 『倶知安町史』（倶知安町 1951）および『北海道・樺太の新聞雑誌』により、『新京報』『倶 知安新報』の2紙を発見。しかし当館未所蔵。 → 代替で『北海タイムス』『小樽新聞』等紹介 ※現在であれば、『北海道地方新聞所在目録』を参照するが、当時は刊行前だった</p>
4	<p>大正11年の東宮行啓時の拝謁者について 『皇太子殿下北海道行啓録』ほか、行啓関係蔵書には記載なし 『北海タイムス』大正11年7月20日 5面に記載あり</p>
5	<p>『日本写真史』（平凡社 1971）および『映像が語る「日韓」併合』（労働経済社 1987）に掲載されている写 真「北海道中川郡安平志内 大盛時 渡辺土工部屋 酷使虐待を受けた土工たち 旭川新聞 大正15年」 の、新聞からの複写希望。月日は不明 月日特定のため、年表、強制労働関係、タコ部屋労働関係、中川町史など見るが不明。 写真の景色に雪はなく、植物がかなり生い茂り、土工たちの服装も薄着なことから、夏と推 測し、新聞調査 『旭川新聞』大正15年9月9日に該当写真記事あり 9月8日、12日にも関連記事あり</p>
6	<p>佐左木俊郎『熊の出る開墾地』の映画に関する資料 『北海道映画史』ほか映画関係蔵書に若干記述あり 映画関係雑誌 … 記事確認できず 『北海タイムス』昭和7年2月22日8面 ロケ隊が来たときの記事 『朝日新聞縮刷版 復刻版』昭和7年4月13日3面 映画広告 昭和7年4月14日3面 映画広告 昭和7年4月14日7面 映画の批評記事</p>

7	<p>昭和 14 年か 15 年夏に、樺太の能登呂半島で野ネズミが大量発生したときの記事 『樺太日日新聞』昭和 14 年 6 月 30 日 3 面、7 月 2 日 3 面、7 月 5 日 3 面に記事あり</p>
8	<p>戦時中の、陸軍美術協会が関係した戦争関係の美術展について 『北海道美術史』『道展・全道展・新道展創造への軌跡』等、美術関係蔵書や、『北海道年鑑 昭和 19 年版』等に記述あり。美術展開催時期を特定 それらの情報をもとに、新聞調査 昭和 15 年 9 月 『函館新聞』9 月 11 日 3 面 『函館日日新聞』9 月 11 日 3 面 昭和 17 年 5 月 『北海タイムス』5 月 23 日 2 面 昭和 18 年 6 月 『北海タイムス』6 月 4 日 4 面 昭和 20 年 6 月 『北海道新聞』6 月 5 日 2 面</p>
9	<p>『想ひ出の記』所収の新聞記事の、新聞名と日付がわからないので、調べて欲しい 記事中の語句や地域から推測し、あたりをつけて調査、回答</p>
10	<p>昭和 17 年以前の北海道の地方新聞について 『北海道立図書館報』151、159、178 号の特集記事「所蔵資料紹介 北海道の地方新聞 マイ クロフィルム資料から」 『北海道地方新聞所在目録』 これらをもとに紹介</p>
11	<p>昭和 18 年 9 月 29 日中島公園でのアッツ島戦死者の慰霊祭に、藤田嗣治は「アッツ島玉砕」の絵を持って 参加していたか 『北海タイムス』昭和 18 年 9 月 30 日 2 面に、9 月 29 日夜の北海タイムス主催行事に講師で参 加の記事あり。但し、絵については記載なし 『北海道年鑑 昭和 19 年版』『北海道美術史』『北海道の美術史』等には、記述なし</p>
12	<p>『北海道新聞』昭和 18 年 8 月 29 日の 3・4 面に、沖縄戦戦死者名簿があるか。あれば、知人の名前の有 無を確認してほしい。 該当ページの記事があったが、沖縄戦ではなく、アッツ島での戦死者。該当名なし。 アッツ島および、沖縄戦の戦死者名簿が含まれる図書を、別途紹介</p>
13	<p>昭和 20 年 7 月 14～16 日の北海道新聞に、十勝・帯広空襲の記事があるか 『北海道新聞』7 月 15 日 1～2 面に記事あり</p>
14	<p>『八雲新報』昭和 23 年分 『プランゲ文庫（新聞）』 マイクロフィルム に 97 枚あり</p>
15	<p>『プランゲ文庫新聞目録 北海道関係分』に『みなと新聞』が載っているが、昭和 24 年 5 月 18 日に、小樽 図書館の記事はあるか マイクロフィルム確認 あり</p>
16	<p>『君の名は 第 2 部』昭和 29 年北海道ロケについて、町史以外の資料を 北海道の映画関係の図書 北方資料室展示目録『すべては君の瞳の中に』（平成 15 年 7～8 月開催）より、 『道新 Today』29 卷 12 号（2001. 10）に記事あり 『北海道新聞』、『キネマ旬報』ほか映画雑誌等の閲覧をすすめ、成果があった由</p>

17	<p>昭和33年8月10日(日)、11日(月)前後の新聞で、函館市で開催された、全国高校ハンドボール大会の記事が詳しいもの</p> <p>『北海道体育協会五十年史』により、昭和33年8月6～10日函館開催を確認 『北海道新聞』8月1～11日の記事に関連記事あり 『北海道新聞 函館地方版』8月7～11日にあり 『北海タイムス』8月7～11日 『朝日新聞 北海道版』8月7日 雑誌『高体連』7号にも関連記事あり</p>
18	<p>1977年10月15日と30日の札幌の天気</p> <p>『気象年鑑 1978年版』(大蔵省印刷局 1978) p71 10月15日:晴 30日:曇 『北海道新聞』縮刷版 1977年10月号 10月15日:曇 10月16日2面より 30日:曇 10月31日2面より</p>
19	<p>昭和57年7月～60年3月に湧別で行っていた、湧別市川Ⅱ遺跡発掘の記事。『網走館内ニュース年報22号』に昭和57年7月14日付けの記事が載っているが、新聞名は不明。その他の記事もあれば。</p> <p>該当記事 → 『北海道新聞』地方版「みんなの北見・網走欄」</p> <p>『北海道年鑑』昭和58年版～61年版 巻頭の「重要日誌」で昭和57～60年を調査。「58.8.28 湧別町の市川遺跡で縄文早期の滑石製の装身具が完全な形でみつかる。国内では初めて」を手がかりに、『北海道新聞』昭和58年8月29日1面関連記事発見</p> <p>『北海道新聞 縮刷版』昭和57～60年目次の「重要日誌」および、「文化」の中の「文化財・天然記念物・史・遺跡」欄も調査したが、他の記事は発見できず。</p>
20	<p>インディギルカ号が座礁し、猿払に着いた事件で、その船のラブシーン船長は、本当に銃殺されたのか</p> <p>『インディギルカ号の悲劇』(筑摩書房 1993) p292:銃殺刑が宣告されたとあり 日経テレコン21で検索 『朝日新聞』平成3年1月29日 夕刊3面 インディギルカ号遭難事件の生存者の手記を紹介しつつ、その手記の契約記者の解説に、帰国後銃殺になった旨記述あり 『北海道新聞』平成11年1月20日15面 船長は裁判で銃殺刑を宣告されていたとあり</p>
21	<p>元道酪農協会会長の福屋茂見氏の経歴等</p> <p>『北海道歴史人物事典』にあり 日経テレコン21で検索 『北海道新聞』平成4年12月24日23面に死亡記事あり 記事内容から、『北海道開発功労賞受賞に輝く人々 昭和57年』(北海道 1983)も参照</p>
22	<p>道内の新聞で、平成10年10月7日、平成11年3月2日の両日に、北海道電力の藤野変電所の撤去を求める仮処分の申請と、それを却下した札幌地裁の記事があるはず。確認を</p> <p>日経テレコン21で検索 『北海道新聞』に記事あり。但し、平成11年は、3月3日に掲載</p>
23	<p>2000年の有珠山噴火に関する本。特に、洞爺湖温泉小学校の被害状況の写真が見たい</p> <p>「2000年有珠山噴火コレクション」から、数冊 日経テレコン21で検索 『読売新聞』平成12年4月10日18面に該当写真記事あり</p>

24	<p>平成16年5月27日か28日に、体長2.3mのチョウザメが、10年ぶりに水揚げされたと記憶する。報告書や、北海道新聞の記事などないか。自分は作家で執筆資料にしたいので、なるべく幅広く沢山あるとよい 報告書なし 『広報 いしかり』平成16年7月および8月号に記事あり 日経テレコン21 「石狩川」×「チョウザメ」 『北海道新聞』平成16年5月27日夕刊 ほか種々ヒット 石狩川関係雑誌 …… 記事なし 石狩市民図書館および石狩市観光センター（剥製を展示）も紹介</p>
25	<p>札幌で一番高い建物は 日経テレコン21で検索 『北海道新聞』平成18年6月3日地方版 記事あり 2006年現在 JRタワー 173m JRタワーHPにも記述あり</p>
26	<p>『北海道医療新聞』平成18年4月1日付けに「診療報酬改訂疑義解釈 その2」という記事があった。その3までは見たが、その4以降もあるのか 原紙確認 その2 4月7日 その3 4月14日 その5 5月12日 3と5の間の号には記事見つからず。5以降も記事なし。 その後、厚生労働省のHPに「平成18年度診療報酬改訂に係る通知等に係る疑義解釈資料 1～4」の掲載を確認。その4は、『北海道医療新聞』のその5と同一内容だった。</p>
27	<p>ハスカップの有機栽培の方法。質問者は農業従事者と思われ、「他のベリー類は、結構有機栽培が可能だが、ハスカップは化学でないといけない。農業試験場に問い合わせるなら、自分です。」と言っている。 ×果樹栽培、有機および無農薬栽培関係蔵書 ×雑誌『北海道有機農研』『有機栽培ノウハウ』など ×雑誌記事検索および農学関係の無料データベース（インターネット） ○日経テレコン21で検索 新聞記事が種々ヒットし、有機栽培はあちこちで行われていることが判明。記事を紹介するとともに、北海道有機農業研究協議会も紹介</p>
28	<p>YOSAKOIソーラン祭りの経済効果についての文献 YOSAKOIソーラン祭り関係蔵書および雑誌記事検索の結果は、古いものばかり。 日経テレコン21で検索 毎年祭り後に、関連記事ヒット</p>
29	<p>『プレス空知』の題字が、縦から横へ変わったのはいつか 現物確認 平成20年4月から</p>